

第 6 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成 8 年 3 月 6 日（水）
 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 平成 7 年度外国人招へいについて
4. 資 料 委 6 - 1 第 5 回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨（案）
 委 6 - 2 平成 7 年度宇宙開発委員会外国人招聘について（案）

第5回宇宙開発委員会（臨時会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成8年2月13日（火）
11:00～11:45
2. 場所 野村委員室
3. 議題
 - (1) 極超音速飛行実験機(HYFLEX)／J－Iロケットの打上げ結果について
 - (2) J－Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験機(HYFLEX)の打上げ結果の評価及びHYFLEXの回収失敗の原因究明について
 - (3) 前回議事要旨の確認について
4. 資料

委5－1	第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委5－2	極超音速飛行実験機／J－Iロケット試験機1号機 打上げ結果の概要（速報）
委5－3	J－Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験機(HYFLEX)の打上げ結果の評価及びHYFLEXの回収失敗の原因究明について（案）
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	野 村 民 也
宇宙開発委員会委員	山 口 開 生
〃	長 柄 喜一郎

 関係省庁

運輸省運輸政策局次長	龍 野 孝 雄（代理）
郵政大臣官房技術総括審議官	岡 井 元 〃

 事務局

科学技術庁研究開発局長	加 藤 康 宏
科学技術庁長官官房審議官	間 宮 馨
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	林 幸 秀 他
6. 議事
 - (1) 極超音速飛行実験機(HYFLEX)／J－Iロケットの打上げ結果について
宇宙開発事業団及び科学技術庁航空宇宙技術研究所より、資料委5－2に基づきJ－Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験機(HYFLEX)の打上げの状況、HYFLEXの回収失敗の状況及び今後の原因究明への取り組み等について説明が行われた。

- (2) J-1 ロケット試験機 1 号機による極超音速飛行実験機(HYFLEX)の打上げ結果の評価及びHYFLEXの回収失敗の原因究明について
宇宙開発委員会として今回の回収失敗に係る原因究明と今後の対策についてできる限り速やかに調査審議を行うこととし、事務局より、資料委 5-3 に基づき説明が行われた後、原案のとおり決定された。
- (3) 前回議事要旨の確認について
第 4 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 5-1）が確認された。

委 6 - 2

平成7年度宇宙開発委員会外国人招聘について（案）

平成8年3月6日

宇宙開発委員会決定

平成7年度における宇宙開発委員会外国人招聘として、下記の2名を平成8年3月12日から16日の間（5日間）招聘することとする。

記

○氏名：Mr. Chen Yongzeng

所属：中国国家航天局・科技国際交流中心

China National Space Administration

International Exchange Center for Space & Technology

役職：Vice Director-General

○氏名：Mr. Ji Fusheng

所属：中国国家科学技術委員会・中国国家リモートセンシングセンター

State Science and Technology Commission of China

National Remote Sensing Center

役職：Director-General

招聘理由

平成8年3月13日（水）～15日（金）まで、東京のホテルニューオータニにおいて、第3回アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-3）を、科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所の主催において開催する。

同会議は、平成4年11月に開催されたアジア太平洋国際宇宙機関会議において、当該地域における宇宙活動に係る協力の重要性が認識されたことに基づき、国際宇宙年の終了後においても継続的にアジア太平洋地域の宇宙機関による意見交換の場を設けることが提唱されたことを受けたものである。第1回会議は、平成5年9月に、第2回会議は、平成6年10月に東京にて開催された。

今回、招聘を予定している Cheng Yongzeng 氏及び J I F u s h e n g 氏は、APRSAF-3において、それぞれ中国国家航天局及び中国国家リモートセンシングセンターを代表して一般発言を行う予定であり、同会議の参加者中重要な役割を担うことが期待されている。

両氏は、中国の宇宙開発体制の枢要な位置を任されており、両氏と我が国の宇宙開発委員会が意見交換を行うことは、今後、同国と宇宙開発の分野で連携を進めつつある我が国にとり極めて有意義であると考えられる。

招聘者滞在日程（案）

3月12日（火） 成田空港着

13日（水） APRSAF－3参加
宇宙開発委員会との意見交換（予定）

14日（木） APRSAF－3参加

15日（金） APRSAF－3施設見学会

16日（土） 成田空港発

※宇宙開発委員会との意見交換については、3月13日（水）午後の宇宙開発委員会懇談会を予定しているが、今後招聘者と調整を行う予定。

招聘者略歴

1. 氏名：チェン ヨンゼン
2. 性別：男
3. 生年月日：1946年1月30日
4. 所属機関：中国国家航天局・科技国際交流中心
5. 現在の地位：Vice Director-General
6. 学歴：1968年 ハルビン研究所卒業（機体設計専攻）
1982年 北京大学大学院航空宇宙学科卒業
7. 職歴：1968年 ハルビン研究所講師
1982年 北京研究所上級技術者
1986年 在米中国大使館科学技術1等書記官
1990年 現職

招聘者略歴

1. 氏名：ジ フーシェン

2. 性別：男

3. 生年月日：1942年5月7日

4. 所属機関：中国国家科学技術委員会・中国国家リモートセンシングセンター

5. 現在の地位：Director-General

6. 学歴：1966年 清華大学卒業

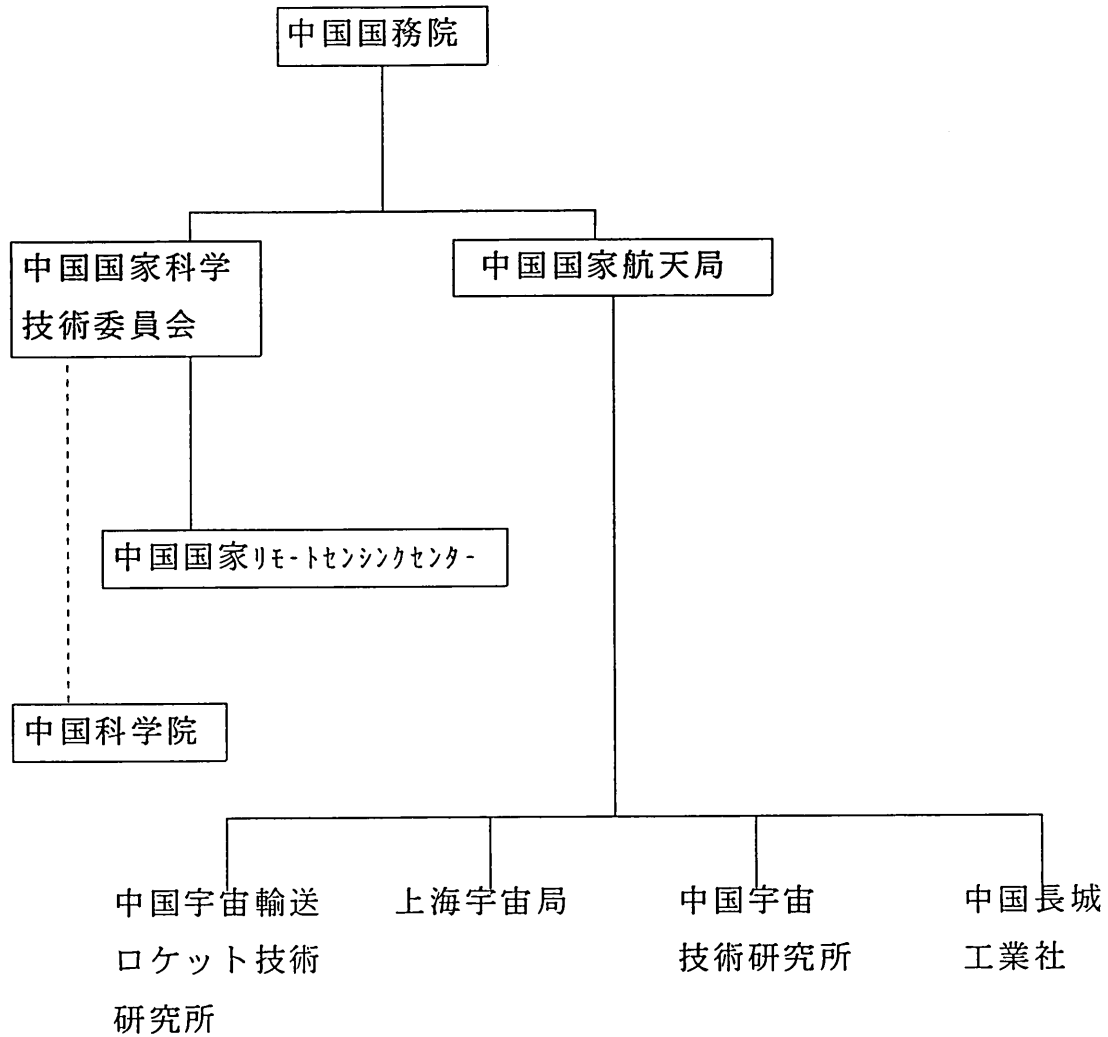
7. 職歴：1966年 中国郵政通信省

1978年 コーネル大学客員研究員

1981年 清華大学教授

1995年 現職

中国の宇宙開発体制



(参考)

第3回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-3) について

平成8年3月6日
調査国際室

1. 開催の目的

- ・アジア太平洋地域の宇宙機関及び国際組織の代表による宇宙開発政策等についての意見交換
- ・アジア太平洋地域における宇宙分野の協力のための共通関心分野の検討等

2. 会議の概要

(1) 主催者

科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所

(2) 開催日程

96年3月13日～15日

(15日は終日、宇宙開発事業団筑波宇宙センター等の施設見学を予定)

(3) 開催場所

ホテルニューオータニ (東京都千代田区紀尾井町4-1)

(4) 参加者

アジア太平洋地域の宇宙機関の幹部等 (別紙1)

(5) 議事予定 (別紙2)

- ・各国の宇宙開発政策等について (参加各国より発表)
- ・宇宙開発関連の個別テーマについての討論

(参考：過去の経緯)

1992年に我が国で開催された「アジア太平洋国際宇宙年会議」での合意を受けて、93年9月に、第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-1) が、開催されている。また、94年10月に第2回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-2) が開催されている。

A P R S A F - 3 参加者リスト (3月6日現在)

Australia	Mr. Kym Anthony Fullgrabe Deputy Executive Director, Australian Space office
Bangladesh	Dr. Anwar Ali Chief Scientific Officer, Bangladesh Space Research and Remote Sensing Organization
Canada	Mr. G. E. Benson Manager, International Relations for Asia, Canadian Space Agency
China	Mr. Cheng Yongzeng Vice Director-General, China International Exchange Center for Space Science & Technology, China National Space Administration Prof. JI Fusheng Director-General, National Remote Sensing Center, State Science and Technology Commission of China
India	Prof. Bulusu Lakshmana Deekshatulu Director, National Remote Sensing Agency
Indonesia	Dr. Ir. Mahdi Kartasasmita Deputy Chairman on Remote Sensing National Institute of Aeronautics and Space
Korea	Prof. Soon Dal Choi Director, Satellite Technology Research Center, Korea Advanced Institute of Science and Technology Dr. Keun-Ho Chang President, Korea Aerospace Research Institute Dr. Shin-Haeng Moon Director, Space Div Korea Aerospace Research Institute

Mr. Jun-Se Lee, Director, Planning & Research
Management Division
Korea Aerospace Research Institute

Malaysia

Mr. Loh Kok Fook
Head of Application and Image Processing Division,
Malaysian Centre for Remote Sensing

Mongolia

Dr. Badarch Mendbayaryn
Director, National Remote Sensing Centre of Mongolia

Mrs. Sanjiin Otgon
Research worker, National Remote Sensing Centre of
Mongolia

Nepal

Mr. Shree Gopal Jha
Director, Forest Survey Division, Forest Research &
Survey Center

New Zealand

Ms. Stella Elizabeth Belliss
Senior Scientist, Manaaki Whenua Landcare Research

Pakistan

Mr. Sikandar Zaman
Chairman, Pakistan Space & Upper Atmosphere
Research Commission

Singapore

Prof. Yean Joo Chong
Director, Vital Technology

Russia

Dr. Alexander Ivanovich Medvedchikov
Deputy Director General, Russian Space Agency

Dr. Youri Znov
Chief, Russian Space Agency

Sri Lanka

Dr. Sanath Padmasiri de Alwis
Deputy Director, Arthur C. Clarke Center for
Modern Technologies

Thailand

Dr. Paibul Ruangsiri
Director, National Research Council of Thailand

Viet Nam

Mr. Nguyen Viet Chien
Head of Remote Sensing Division, National Center for
Natural Science and Technology

(国際機関など)

ESCAP

Dr. He Changchui
Officer-in-Charge, Space Technology Applications,
Enviroment and Natural Resources Management Division

ISU

Dr. Roland Doré
President, International Space University

APRSAF-3 スケジュール (案) 概要

・ 3月13日 (水)

9時30分	開会
9時35分	主催者挨拶
9時55分	基調講演
10時45分	各国プレゼンテーション
12時15分	昼食
13時45分	各国プレゼンテーション続き
15時30分	休憩
16時00分	各国プレゼンテーション続き
17時30分	一日目議事終了

・ 3月14日 (木)

10時30分	ディスカッション／テーマ (地球観測)
12時00分	昼食
13時30分	ディスカッション／テーマ (宇宙教育・宇宙科学)
14時30分	ディスカッション／テーマ (衛星技術)
15時30分	休憩
16時00分	議長総括
16時40分	閉会

・ 3月15日 (金)

宇宙開発事業団筑波宇宙センター見学 (終日)